



高松誠治 Seiji Takamatsu

スペースシンタックス・ジャパン株式会社 代表取締役  
技術士(建設部門)  
URL: <https://www.spacesyntax-japan.com/>  
Email:s.takamatsu@spacesyntax-japan.com  
〒163-0411 東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビルディング11F  
TEL: 03-3403-3299

#### ■活動のビジョン

人の動きや空間構成の現状をわかりやすく可視化することによって、論拠に基づいたデザイン検討を行うことを目指している。「人の観察手法」、「空間解析技術」、「デザインの知見」を組み合わせて、オリジナルな分析検討・デザイン助言を提供している。

良いデザインによって、地域の経済活動を活性化することを常に意識し、また、場所の社会的・文化的な価値を高めることにも寄与することを目指している。

#### ■自分が考える都市デザイン、まちづくり等の課題と解決策等

これまでのまちづくりでは、現況把握が不十分。場所のポテンシャルを活かせていない公共空間が多い。「造るから使うへ」と言われているが、使われにくい空間では価値を生み出せない。空間的な「改造・改良」を行うことによって、新たな機能をつくり、人の行動・活動を喚起するような戦略が必要である。

大都市においては、世界に誇れる公共空間を長期的な視点で構想する必要がある。地方都市では、中心市街地の現状について実空間と結び付けて把握し、機能改善に向けた「ツボ」を発見する。専門家を交え、地域で幅広く共有、議論することが有効である。

#### ■自分が関わった活動・作品・現場の概要

##### ① トラファルガー広場の再生デザイン(ロンドン)

- ・2003年竣工
- ・空間特性の指標化・可視化、事後評価



① トラファルガー広場の再生デザイン



② 姫路駅周辺の公共空間整備



##### ③ 賑わいづくり施策「発見」マニュアル

(国交省国土技術政策総合研究所から受託)

- ・2014年3月公開
- ・ケーススタディ、分析検討、マニュアル案作成

##### ④ 都市空間構成と人の活動の現況把握 (熊本市)

- ・2010年
- ・歩行者分布、行動の調査、空間特性の可視化

③ 賑わいづくり施策「発見」マニュアル

#### ■主な経歴

1972(昭和47)年 徳島市生まれ  
1995(平成7)年 徳島大建設工学科卒業  
1997(平成9)年 東大院社会基盤工学修士修了  
1999(平成11)年 (株)プランニングネットワーク  
2002(平成14)年 ロンドン大院先進建築学修士修了  
2002(平成14)年 Space Syntax社(ロンドン)  
2006(平成18)年 スペースシンタックス・ジャパン(株)設立、代表取締役就任

#### ■所属等

都市環境デザイン会議 正会員  
エンジニア・アーキテクト協会 正会員  
日本都市計画学会 正会員  
日本建築学会 正会員  
土木学会 正会員  
交通工学研究会 正会員



④ 都市空間構成と人の活動の現況把握

#### ■おすすめ景観

リヴァーポール・ワン  
(英国リヴァーポール)

市街地中心部の大規模な再開発プロジェクトによって2008年にオープン。一体的なショッピングセンターのように運営されているものの、歴史的な街路パターンを基本とする沿道型の構成になっている。駐車場の上部を、市民が集う芝生広場とするなど、人のための空間づくりが行われている。

